

令和5年3月15日
海上幕僚監部

(お知らせ)

日仏米豪印英加新共同訓練（ラ・ペルーズ23）について

海上自衛隊は、「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けて連携を強化すべく、次のとおり、日仏米豪印英加新共同訓練（ラ・ペルーズ23）に参加しました。

- 1 目的
海上自衛隊の戦術技量の向上及び参加国海軍との連携の強化
- 2 期間
令和5年3月13日（月）・3月14日（火）
- 3 訓練海空域
スリランカ東方
- 4 参加部隊等
 - (1) 海上自衛隊：護衛艦「すずつき」
 - (2) フランス海軍：強襲揚陸艦「ディクスミュード」、
フリゲート艦「ラファイエット」
 - (3) 米海軍：沿海域戦闘艦「チャールストン」
 - (4) オーストラリア海軍：フリゲート艦「パース」
 - (5) インド海軍：フリゲート艦「サヒャドリ」、補給艦「ジョッティ」
 - (6) イギリス海軍：哨戒艦「テイマー」
 - (7) カナダ海軍：カナダ海軍司令部等
 - (8) ニューージーランド海軍：ニューージーランド海軍司令部等
- 5 訓練項目
各種戦術訓練（対水上射撃、防空戦、戦術運動、クロスデッキ）等



手前から「すずつき」、「ディクスミュード」



左から「すずつき」、「パース」